

重要文化財・勝鬨橋 「学生・技術者向けツアー」& 「橋脚内見学ツアー」実施中

【橋脚内見学ツアー】

■ツアー内容

橋脚内の開閉装置（機械設備）を説明者と一緒に見学します。毎週木曜日（祝日を除く）1日4回実施（10時～、11時～、13時30分～、14時30分～）。参加人数は各回5名程度。参加費用は無料。
ツアー案内：東京都建設防災ボランティア協会
集合場所：かちどき橋の資料館

※橋脚内へは3.5mの垂直梯子を昇降します。安全面を考慮し、自力で昇降が可能の方。
※落下防止の安全装置の着用が必要であり、安全装置の体重制限である100kg以下の方。
※6歳以上（身長110cm位）の方。
※悪天候の場合は中止する場合があります。

■申し込み方法

往復はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号⑤見学希望日時（第5希望まで・午前、午後、全日可）⑥参加人数（1通5名様まで）を記入して下記宛先までお申込みください。返信はがきにて見学日時をお知らせします。返信用にはご自分の住所、氏名のご記入をお願いいたします。なお、お送りいただいた個人情報については、ツアー運営以外の目的には使用いたしません。

■申込先

〒163-0720 新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル20階
(公財)東京都道路整備保全公社「かちどき橋の資料館」予約係宛

【学生・技術者向けツアー】

■ツアー内容

勝鬨橋や隅田川橋梁群などをテーマにした、学習・研修目的の学生・技術者向けツアーです。ツアー内容、開催日時、参加人数などをご相談に応じます。
開催回数：月1～2回程度（希望日の1か月前までにお申込みください）
開催日：資料館開館日のうち火・金曜日。
参加人数：1回10～15名程度（団体で申込み）
参加費用：無料

■申込先

総務部 公益事業課 電話／03-5381-3380
かちどき 橋の資料館 電話／03-3543-5672



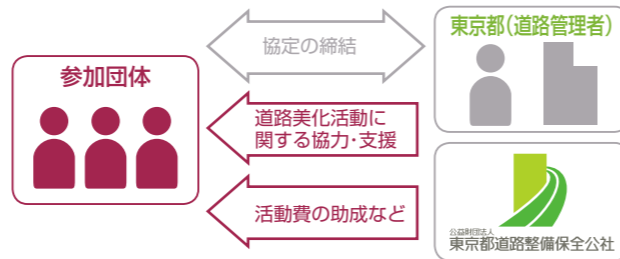
「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してみませんか？

■「東京ふれあいロード・プログラム」とは

地域の住民や企業の皆様と東京都が協力して、道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動を行うことにより、道路利用のモラル向上と潤いのある道路空間の創出を目的とする制度です。

■会社の役割

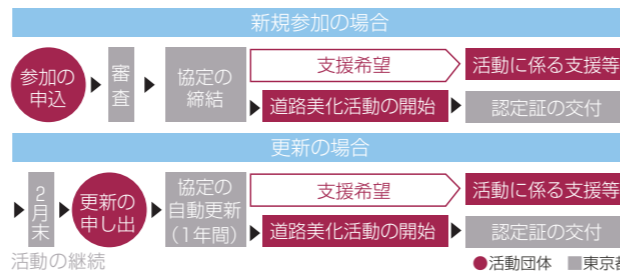
公社は、「東京ふれあいロード・プログラム」に協力し、参加団体の皆様に活動費の助成などを行い、道路美化活動をサポートしています。



■「東京ふれあいロード・プログラム」の概要

対象となる活動	対象となる活動は、都道で行う次の(1)、(2)に該当する活動です。 1 清掃活動 清掃活動とは、紙くず・空き缶・吸殻・落ち葉などを拾う活動です。 2 緑化活動 緑化活動とは、植栽の手入れ・花苗の植替え・種まき等を行う活動です。
対象となる団体	東京都内の自治会、町内会、商店会、学校、企業、NPO法人、ボランティア団体等
活動場所	都道の歩道部分（供用を開始した道路）
募集期間	随時募集しています。
活動期間	年間を通じて活動することとし、特に期間は定めていません。
活動に係る支援等	原則として、無償で活動していただけますが、活動の補助として、活動用具等の費用の一部支援を受けることができます。 支援の内容 活動費の支援（1年間 最高8万円まで）* 活動区域内へのサイン（表示板）の設置 *審査の結果、有償団体として認定した団体に限りです。
認定方法	団体等から、活動を希望する区間（都道）を提示された後、活動の場所等が適切かどうか、東京都が確認した上で認定します。

■「東京ふれあいロード・プログラム」認定までの流れ



- 平成25年1月末現在、119団体が活動しています。情報を公開している団体の一覧は、<http://www.tmpc.or.jp/index.php/about-michidukurio/list>から確認できます。
- 公社では、東京ふれあいロード・プログラム参加団体を対象に、「清掃用具やジャンパーの物品支援」を行っています。物品支援について、詳しくは<http://www.tmpc.or.jp/index.php/about-michidukurio/pcej>をご覧ください。

■「東京ふれあいロード・プログラム」についてのお問い合わせ

東京都建設局 道路管理部 路政課 管理係
【電話:03-5320-5281（直通）】

登場団体募集！

TR東京都道路整備保全公社では、ティーアール・マガの東京ふれあいロード・プログラムに登場していただける団体を募集しています。このページは、皆さんの日頃の活動とその思いを紹介していくページです。自薦、他薦を問いません。ご応募お待ちしております。

東京ふれあいロード・プログラム

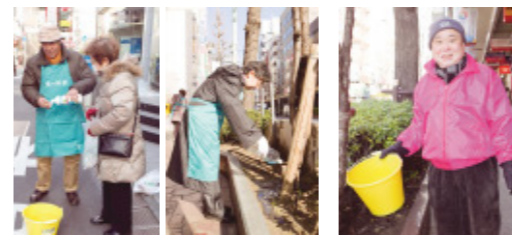
参加団体訪問-31 中野の桃園に桃の花をいっぱい咲かせる会（中野区）

環境に対する意識は年々高まり、道路空間にもうおいと安らぎが求められています。私ども公社では、地域住民の皆様のボランティアによる快適な道路環境づくりを目指す東京都の「東京ふれあいロード・プログラム」に協力しています。このプログラムは、道路の清掃や植栽の手入れなどの道路美化活動を、地域住民の力や地元自治体、企業団体と東京都が協力しあって進めていくプログラムです。平成25年1月末現在、この「東京ふれあいロード・プログラム」に参加して下さっている団体は119団体です。公社ではこのプログラムに参加する団体に対し、清掃グッズやジャンパー等を支援、活動費用の助成をしています。このコーナーでは「東京ふれあいロード・プログラム」の参加団体の活動を紹介しています。今号は、中野区の中野駅南口付近の桃園地域で活動されている「中野の桃園に桃の花をいっぱい咲かせる会」を訪問いたしました。

■中野の桃園に桃の花をいっぱい咲かせる会の活動スケジュール

主な活動内容 / 月1回の清掃活動（基本的に第4週目の天気の良い日の午後）
年1回の桃の木の植樹

中野駅南口の桃園地域を
桃の花で心和む町にしたい！
地元を愛する共通の思いが
私たちの活動を支えています。



花つき、花や葉色が良くなるように液体肥料も欠かせません！



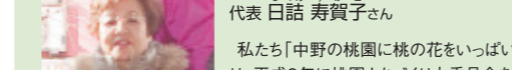
きれいな花を咲かせるために水やりはしっかりと。



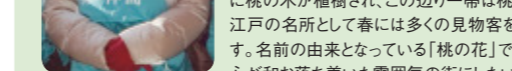
ペットボトルに分けて、掃除の間に効率よく与えていきます



奥のほうに捨てられているゴミもあるので、丹念に確認します。



ゴミの収集場所にポイ捨てタバコ発見！



桃の木を植えはじめて約17年。桃園地域を本当の桃園にしようと頑張っています。

中野の桃園に桃の花をいっぱい咲かせる会
代表 日詰 寿賀子さん
私たち「中野の桃園に桃の花をいっぱい咲かせる会」は、平成9年に桃園まちづくり小委員会を母体に、桃園地域のまちおこしと活性化を願い発足いたしました。その昔、将軍徳川吉宗の時代に私たちが住む桃園地域に桃の木が植樹され、この辺り一帯は桃の木が増え、江戸の名所として春には多くの見物客を集めたそうです。名前の由来となっている「桃の花」で、桃園地域を心が和む落ち着いた雰囲気のある街にしたいと思い、東京都第三建設事務所（以下、三建）に桃の木を植えることを相談いたしました。三建さんには基本的なことからいろいろと教えていただき、平成9年に中野駅南口ロータリーで、本格的な活動の第一歩となった桃の木の植樹祭をすることができました。その後、東京ふれあいロード・プログラムにも認定され、植樹した桃の木の世話に加えて、中野駅南口の中野通りの植込みの清掃等もするようになりました。商店会の会長さんや町会の会長さんなど、桃園地域で活躍されている皆さん、そして近くの企業さんも協力して下さるようになり、地域を大事にしたいの思いがひとつになってきているようです。会を発足してからこれまでに、千本以上の桃の木を公共施設や企業、個人のお家などに植えてきましたが、これからも地道な活動を続けていくことで、桃の花を咲かせるバトンを次の世代に繋いでいければと思っています。



お揃いのエプロンも活動のトレードマークになりつつあるようです。

中野駅南口ロータリーと中野通りの両側に、約45本の桃の木が植栽されています！



中野駅南口が桃の花で明るく！



桃の花の見頃は毎年4月の中旬頃。桃の花見で賑やかになるそうです。 まだ蕾も固くしっかりと育っているようですね！

私たちが住む桃園地域を“桃の花でいっぱいにしたい！”

